

ブラウザ: https://denshi.yamagata-np.jp/NAVIH/NAVIH# 山形新聞

メニュー: ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

検索: Google 検索 共有 詳細

ユーザー: 貞志 黒沼 設定

尾花沢

福島地区球技大会が11日、福原中などで開かれ、住民約260人が6種目で親睦を深めた。ソフトボール、混合ソフトボール、ペタンク、ゲートボール、グラウンドゴルフ、パ

街まち情報

したという。山形芋煮カレのメンバーが、おきたまラジオを披露し、山形市のお宝を観光PRをしながら、お宝を命懸けで探して山形を知り、お宝を誘客に結び付けている。

1 グランブー 福祉施設での通して普及。首都圏中央の厚木パーキ神奈川県厚木フード・コン(東京都)が星のメニューを取り入れられりを見せている。

市の介護付きムベル宮町のイベントとして、メンバーが山一うどんを製作し、おきたまラジオに振る舞った。おきたまラジオは、旅館と取業者の協力で、各旅館の若手、高年齢者

◆山形で24日、地域力共創フォーラム 山形市の地域力共創推進コンソーシアム(黒沼貞志代表)の設立10周年を記念した地域力共創フォーラムが24日午後1時半から、同市の県産業創造支援センターで開かれる。

同コンソーシアムは地域づくりに関心のある市民の情報交換と交流の場「One Coin 地域力カフェ」などを企画し、地域力向上に取り組んでいる。フォーラムでは、経営デザイン研究所(仙台市)の川村志厚氏の基調講演とパネルディスカッションを開催する。定員40人。

11月21日に第2部を山形市総合福祉センターで開き、東日本大震災の復興支援に関する講演などを行う。参加費は第1部、第2部ともに千円。問い合わせは同コンソーシアム023(642448)。

取材雑記

◆稲ぐい 並ぶ田んぼ 点在して みる。あまり ならぬ。た 光景なの よく目につ

のは、記者が農家の娘からか。最上町で稲作励む両親は、面積を減したものの天日干しにだわり、くい掛けを続い掛けている。ぽかぽか暖かい日差しと涼しい秋風さらされたお米は、作手の愛情も吸収してう味を増す。

◆9月下旬に山形市木沢小児童の稲刈り体を取材した。5年生がを育てる暑い中で草しりをし、大事に大事

員から事故の様相を聞いて音交換した写真。

▽ドライブに注意を促す路標示の設置▽電光掲示板の注意喚起▽沿線にある横断